

## ○ 森の育成目標と取組方針について（第1回資料 P2 2）

- ・方向性は OK[全員]。

## ○ 樹林タイプの設定について（第1回資料 P2 3）

- ・第3工区は①強度利用、②その周辺に、もう少し人と自然のふれあいの理念が実現できるような森、③端の方は自然重視という、3段階のゾーニング[山田委員]。
- ・樹林タイプが漠然としている（照葉樹林:二次林 OR 鎮守の森、夏緑樹林:コナラ、クヌギ林？）ので、具体的に示すべき[澤田委員]。
- ・「3.樹林タイプの設定」は、指定管理者による強度利用や現況（樹木分布、地形など）などを踏まえたものでないため、新たに設定すべき[山田委員・中村委員]。

➡ 別紙1「万博の森樹林タイプの設定（案）」

## ○ 万博の森のゾーニング（案）について（第1回資料 P3）

- ・3-16、3-25 は元々樹林として設定された場所と思われるので、「転用」するような利用は認めない方がよいのではなか[澤田委員]。
- ・P2 と P3 でゾーニングの捉え方が異なる。また、強度利用について、当初計画から考えると、3-16、3-25 とそれ以外は林班単位が少し異なるので、ルールを決めたらよい[井原委員]。
- ・3-36 には、クヌギなど落葉樹林があり、下を利用できるようなイメージでつくられているため、皆伐せず、現状をうまく利用してほしい[中村委員]。
- ・目標植生を設定するうえで、①下層植生の把握②土壌の状態の把握が必要[深町委員]。

➡ 別紙2-1「万博の森樹林タイプ別ルール（案）」、別紙2-2「万博の森樹林タイプ別ルール（簡易版）（案）」

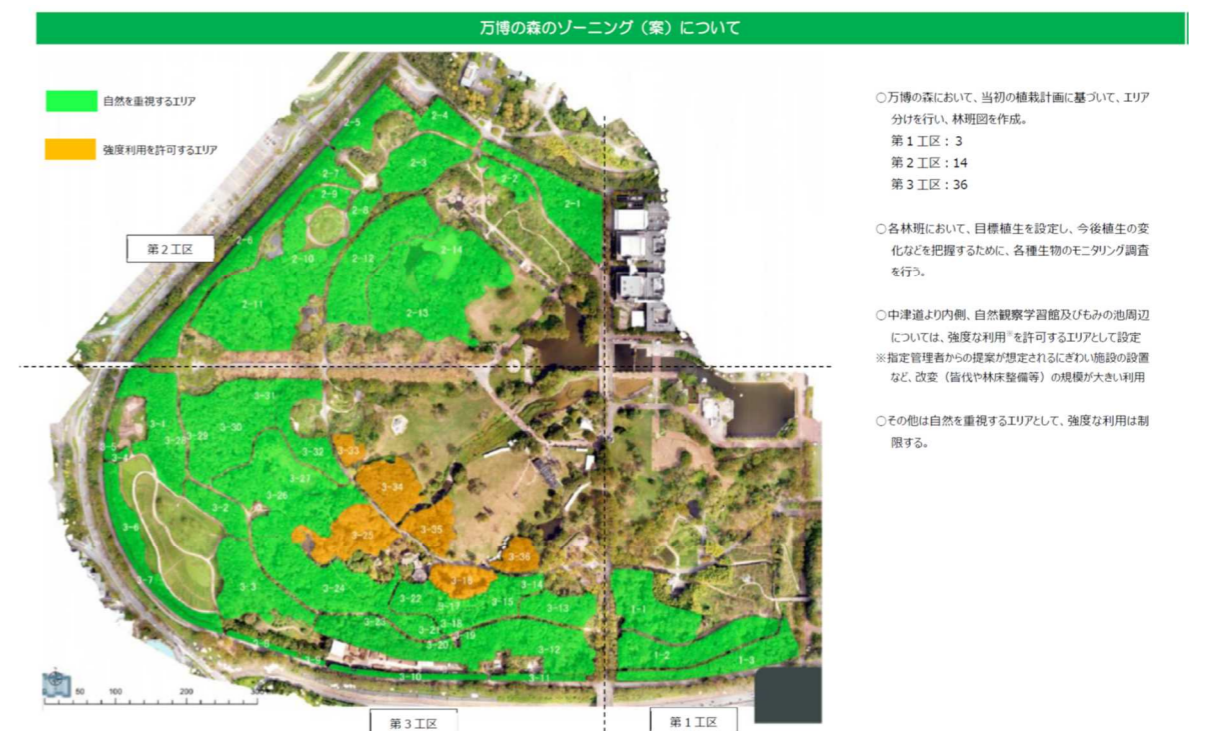
別紙3「万博の森育成等計画の作業フロー（案）」

## ○ 苗木の育成計画について（第1回資料 P6）

- ・方向性は OK[全員]
- ・除伐後アカメガシワ林が形成されてから、アカメガシワ林を日よけとして活用し、苗木を植栽したらよい[中村委員]。
- ・下層植生は周辺から常緑樹が入ってくるので、下層植生を含めた森づくりは困難[中村委員]。
- ・森づくりでは、灌水の方が土壌改良よりコストは安い[澤田委員]。



第1回資料 P2



第1回資料 P3

万博の森の目指すべき森の将来像である「生物多様性の豊かな森」、「人と自然がふれあえる森」は樹林タイプに関係なく森全体で実現することができるものとする  
 (EX 保全重視林での自然観察会の実施は人と自然がふれあいに繋がり、保全・利用林での里山管理活動は生物多様性の確保に繋がる)



【第2工区 保全重視林 (野鳥の森)】



【第2工区 保全重視林】



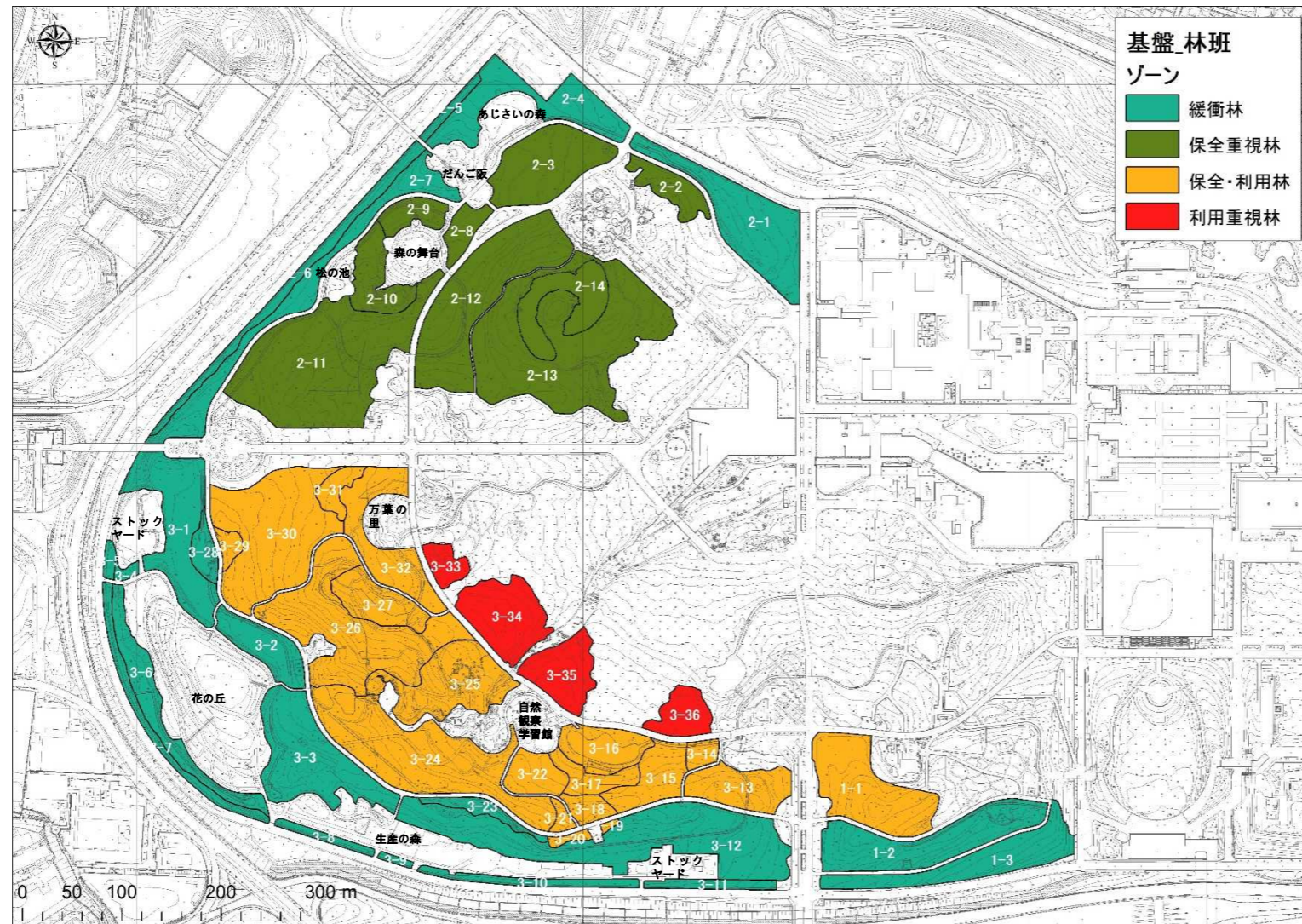
【第2工区 保全重視林】



【第2工区 緩衝林】



【第2工区 緩衝林外周】



【第2工区 保全重視林 (野鳥の森)】



【第3工区 上津道】



【第3工区 緩衝林外周】



【第3工区 利用重視林】



【第3工区 利用重視林】



【第1工区 緩衝林外周】



【第1工区 緩衝林】

樹林タイプ	区域	考え方
緩衝林	上津道 ～ 場内場周道 (全工区)	周囲の騒音、振動等による園内の環境悪化を防止するための緩衝帯として整備するエリア (原生林的管理)  ※既存の照葉樹林を維持し、樹種転換は原則実施しない
保全重視林	第2工区	既存の自然環境の保全と、北摂地域の植生復元と保全に重点を置いた森林整備を実施するエリア (原生林的管理) (里山林的管理)  ※北摂山系で採取した種より育成した苗木を植栽し、部分的に樹種転換を図る
保全・利用林	第1工区 第3工区 (上津道～中津道)	人との関わりと、森林資源利用に重点を置いた森林整備を実施するエリア (里山林的管理)  ※可能な範囲で夏緑樹林(林内が明るい森林)への樹種転換を図る
利用重視林	第3工区 (中津道内側)	大規模な利用施設を含む人を森林に誘う施設整備、仕掛けを実施するエリア  ※強間伐を実施し、芝生エリアと一体となった散開林への転換を図る



【第1工区 保全・利用林】



【第1工区 緩衝林】

項目	行為制限内容		樹林タイプ別実施の可否				実施に際しての主な条件	備考		
	行為内容	詳細内容	緩衝林	保全重視林	保全・利用林	利用重視林				
施設整備	林班内全域	全ての施設整備	林班内全域を施設として改変する行為（林班内全域を森林以外に転用する行為）		×	×	×	×	①施設整備の必要性が合理的であること ②改変面積は必要最小限であること ③整備計画が既存植生、生息生物環境を考慮した計画であること ④施設の性格を吟味し、配置に配慮したうえで、設置が妥当か判断すること。 一時転用期間終了後には速やかに原状回復を図ること	実施の妥当性の判断が困難な場合には緑整備部会の意見を聴く
	林班内一部	保全施設の整備	土砂流出防止施設の設置など、周辺地域の安全を確保するとともに、自然環境の回復・復元に伴う改変行為	○	○	○	○			
		便益施設の整備	歩道、トイレなどの施設整備に伴う改変行為	×	○	○	○			
		利用施設の整備	利用施設の整備	椎茸づくりなど、人と自然がふれあえる機会を創出するとともに、森林の保全・管理に寄与する施設整備に伴う改変行為	×	×	○	○		
				スラックラインなど、人と自然がふれあえる機会を創出する小規模かつ、一時的な行為	×	×	○	○		
				ツリークライミングなど、人と自然がふれあえる機会を創出する簡易な施設整備に伴う改変行為	×	×	○	○		
		その他施設の整備	その他施設の整備	劇場など万博の森の保全、利活用に直接関係しない施設整備に伴う改変行為	×	×	×	×		
	万博の森の保全、利活用に直接関係せず、公共事業などやむを得ない施設整備に伴う改変行為			△	△	○	○			
一時転用による施設の整備	万博の森の保全、利活用に直接関係せず、災害時など緊急を要する場合の施設整備に伴う改変行為	○	○	○	○					
森林管理	樹木の伐採	皆伐	樹種転換など樹木の健全育成を目的に一定区域内の樹木を全て伐採する行為	×	△	△	△	伐採計画が既存植生、生息生物環境を考慮した計画であること		
			森林資源利用（炭焼き、椎茸づくり等）を目的に一定区域内の樹木を全て伐採する行為	×	×	△	△			
		除伐・間伐	樹木の健全育成を目的に、樹木を抜き切りする行為	○	○	○	○			
			森林資源利用（炭焼き、椎茸づくり等）を目的に樹木を抜き切りする行為	×	×	○	○			
		下刈・つる切り	樹木の健全育成を目的に、生育の阻害となる草本類を除去する行為	○	○	○	○			
	危険木伐採	利用者の安全確保を目的に伐採する行為	○	○	○	○				
	植栽	樹種転換（面的植栽）	北摂山系より採取した種子より育苗した苗木を使用	×	○	○	○	①植栽計画が既存植生、土壌条件等を考慮した計画であること ②購入苗木については樹種、産地を考慮すること（育種した樹種は購入しない）		
			購入苗木を使用	×	×	○	○			
		補植（単木植栽）	北摂山系より採取した種子より育苗した苗木を使用	○	○	○	○			
			購入苗木を使用	×	×	○	○			
ソフトの展開	森林資源を利用した取組み	自然観察会、森林浴など人と自然とのふれあえる機会を創出するだけでなく、森林への関心を高める活動	×	○	○	○				
	森林をフィールドとして活用した取組み	トレイルラン、森林ヨガなど人と自然とのふれあえる機会を創出する活動（フィールドが必ずしも森林でなくても実施できる活動）	×	×	○	○	実施計画が既存植生、生息生物環境を考慮した計画であること			
	森林の保全・管理を目的とした取組み	組織化された森林ボランティアなどが継続的に実施する活動	○	○	○	○	活動計画が活動地の樹林タイプの目的に合致した計画であること			
その他	動物を放つ行為	万博公園外で捕獲した動物、ペットとして飼育していた動物を許可無く、公園内に放つ行為	×	×	×	×				

※「樹林タイプ別実施の可否」の「○」は実施可能なもの、「×」は実施不可能なもの、「△」は実施を個別判断するもの

- ・各樹林タイプにおいて、実施メニューの可否は原則以下の通り。
- ・記載のない実施メニューについては、可否を府と協議し、決定する。
- ・なお、各林班において、実施可能なメニューは見直すことがある。

樹林タイプ	特徴	施設整備										森林管理					ソフトの展開							
		自然回復・復元に伴う改変	歩道、トイレ等	椎茸づくり	炭焼き小屋	ピザ窯	スラックライン	ツリークライミング	グランピング	ジップライン(上空通過は可)	フィールドアスレチック	皆伐(森林資源利用)	除伐・間伐(森林資源利用)	育樹作業(下草刈り、つる切り)	危険木伐採	苗木植栽(購入苗木)	自然観察会	工作体験(材料集め)	森林浴	ルディックウォーキング	トレッキング	トレイルラン	森林ヨガ	森のイルミネーション(ナイトウォーク)
緩衝林	照葉樹林(現状維持)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
保全重視林	ジーンバンク	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×
保全・利用林	林床利用	○	○	○	△	△	○	○	×	×	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
利用重視林	開けた林床	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△

※「樹林タイプ別実施の可否」の「○」は実施可能なもの、「×」は実施不可能なもの、「△」は実施を個別判断するもの



スラックライン



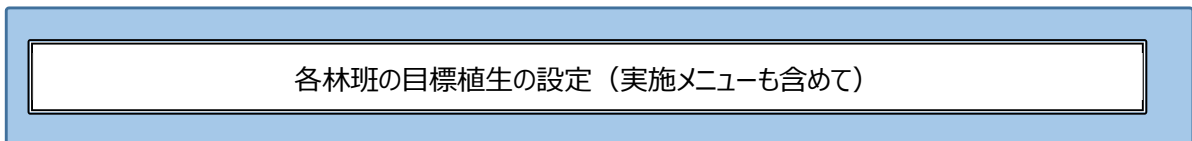
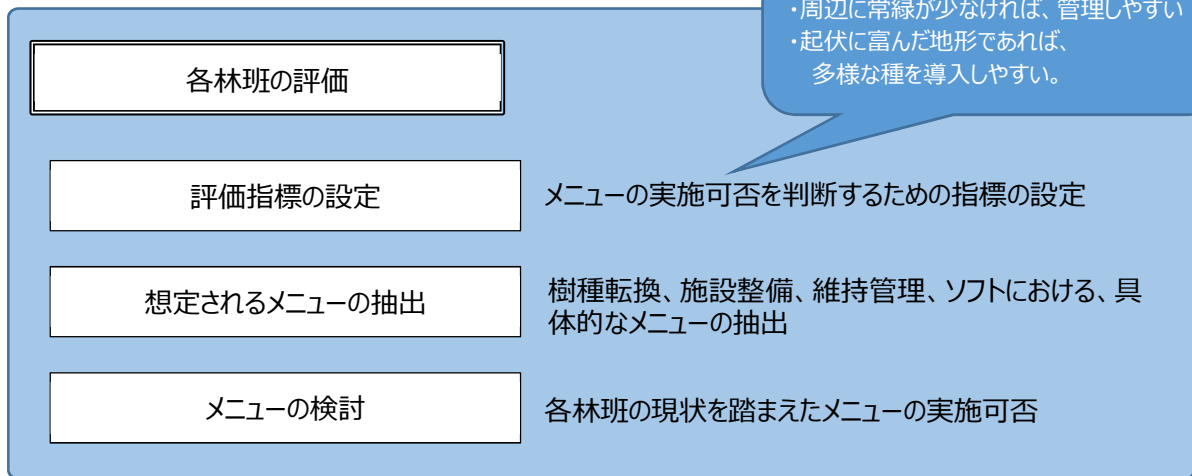
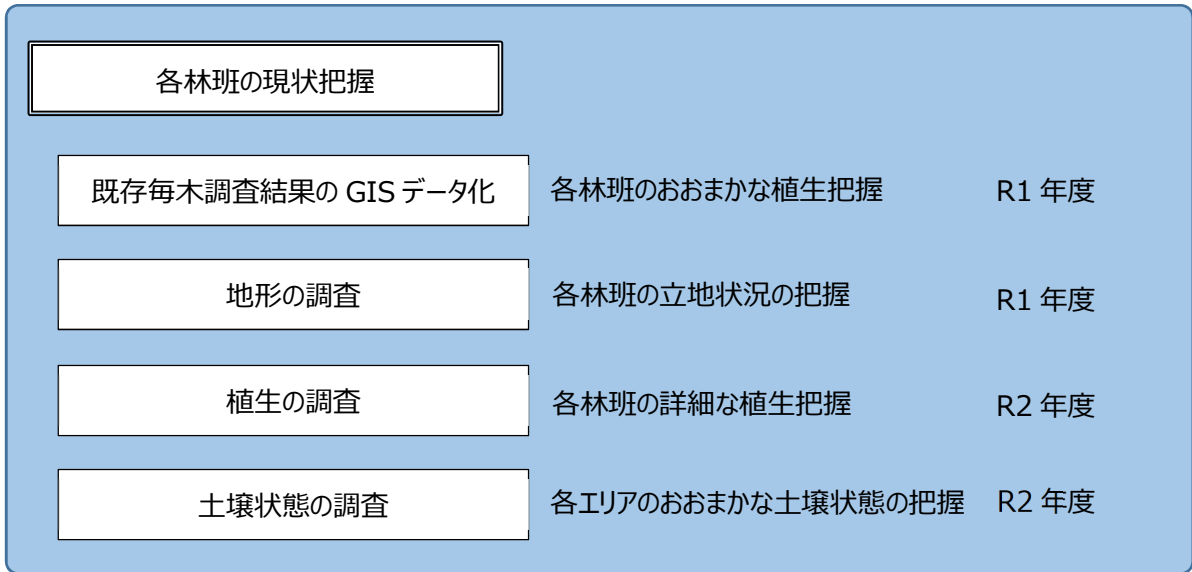
グランピング



フィールドアスレチック



ジップライン



(例1)

### 林班チェックシート

林班名	1工区 1				
樹林タイプ	保全・利用林				
風当	強・中・弱				
日当	陽・中陰・陰				
土湿	乾・適・湿・過湿				
地形	山頂・尾根・ 斜面(上・中・下/ 凹・凸)・ 谷・平地				
土壌	褐森・赤色・黄色・黒色 海成粘土層・その他( )				
階層	優占種	高さ(m)	被度(%)	形状比	備考
高木層		10~			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           植生調査(15×15mコドラートを2か所)、土壌調査はR2年度実施         </div>
亜高木層		6~10			
第一低木層		2~6			
第二低木層		0.5~2			
草本層		~0.5			
林班植生	アラカシだけでなく、アキニレ、エノキなど落葉樹も見られる。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">           樹木の生育状態、保全すべき下草、生息生物なども記載         </div>				


林班の評価 (例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主園路(中津道、上津道)から近い。</li> <li>・アラカシが優占しているため、アラカシを間伐するとともに、林班内には落葉広葉樹もあるため、落葉広葉樹に樹種転換を図る。</li> </ul>
-----------	---

想定されるメニュー (例)	炭焼き小屋、シイタケづくり、ピザ窯、歩道等などの森林管理に関わる施設整備
---------------	--------------------------------------

目標植生 (例)	高木層をクヌギ、コナラ等で、明るい林床の樹林
----------	------------------------

(例2)

### 林班チェックシート

林班名	3工区 34				
樹林タイプ	利用重視林				
風当	強・中・ <b>弱</b>				
日当	陽・中陰・ <b>陰</b>				
土湿	乾・ <b>適</b> ・湿・過湿				
地形	山頂・尾根・ 斜面(上・中・下/ 凹・凸)・ 谷・ <b>平地</b>				
土壌	褐森・赤色・黄色・黒色 海成 <b>粘土層</b> ・その他( )				
階層	優占種	高さ(m)	被度(%)	形状比	備考
高木層		10~			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           植生調査(15×15mコドラートを2か所)、土壌調査はR2年度実施         </div>
亜高木層		6~10			
第一低木層		2~6			
第二低木層		0.5~2			
草本層		~0.5			
林班植生	アラカシやクスノキのほか、ケヤキも多く見られる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;">           樹木の生育状態、保全すべき下草、生息生物なども記載         </div>				


林班の評価(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主園路(中津道)から近い。</li> <li>・林床はすっきりしており、利用しやすい。</li> <li>・アラカシ・クスノキは伐採し、ケヤキなどの落葉樹を活かすなど、様々な改変パターンが考えられる。</li> </ul>
----------	---

想定されるメニュー(例)	ジップライン、フィールドアスレチック、グランピング等、森林管理に直接関係しない施設整備
--------------	---

目標植生(例)	周辺を樹林に囲まれた、にぎわい広場
---------	-------------------

(例3)

## 林班チェックシート

林班名	2工区 13				
樹林タイプ	保全重視林				
風当	強・中・弱				
日当	陽・中陰・陰				
土湿	乾・適・湿・過湿				
地形	山頂・尾根・ 斜面(上・中・下/ 凹・凸)・ 谷・平地				
土壌	褐森・赤色・黄色・黒色 海成粘土層・その他( )				
階層	優占種	高さ(m)	被度(%)	形状比	備考
高木層		10~			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           植生調査(15×15mコドラートを2か所)、土壌調査はR2年度実施         </div>
亜高木層		6~10			
第一低木層		2~6			
第二低木層		0.5~2			
草本層		~0.5			
林班植生	アラカシやスダジイが多いものの、アキニレやエノキなどの落葉広葉樹、コブシやヤマザクラなどの花木も見られ、多様な樹林地となっている。				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           樹木の生育状態、保全すべき下草、生息生物なども記載         </div>

林班の評価 (例)

- ・主園路からは距離がある。
- ・水鳥が多く見られるため、大幅な改変は困難。
- ・北摂山系より採取した種子を使った樹種転換が考えられる。

想定されるメニュー (例)

ビオトープなどの植生復元施設、歩道などの整備、自然観察会など自然と触れ合える機会を創出する取組の実施

目標植生 (例)

北摂山系のジーンバンク